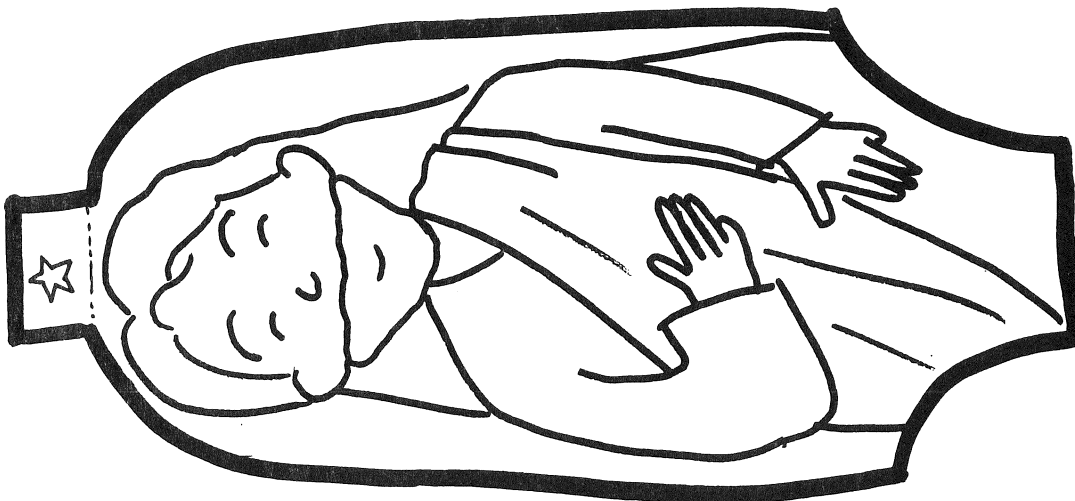
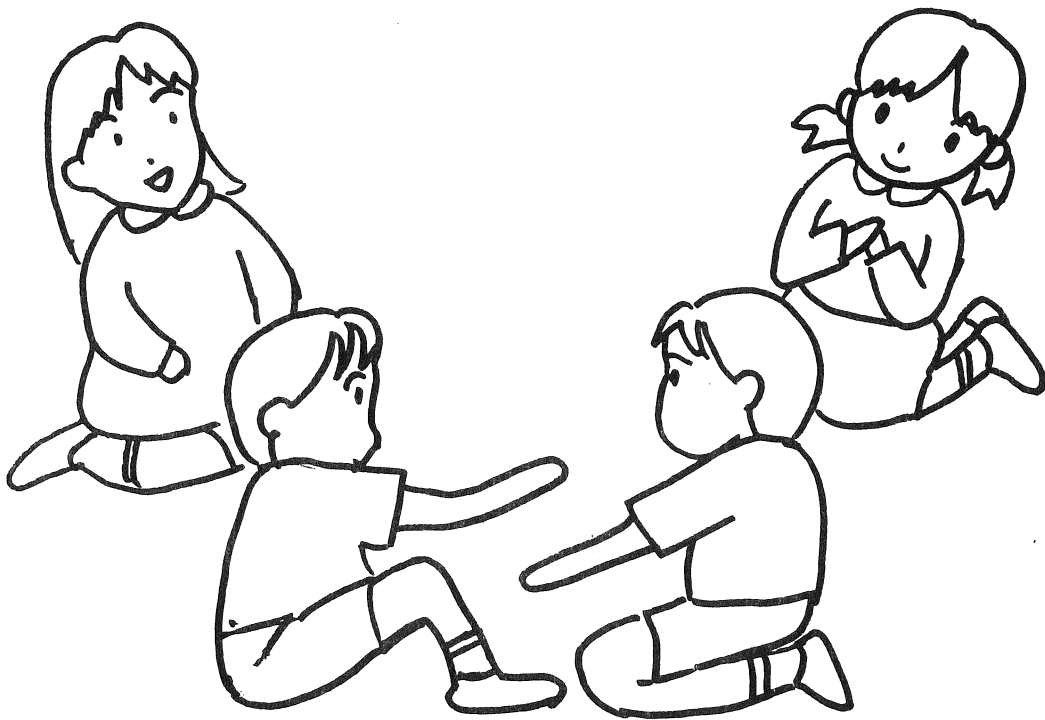


よのつみをとりのぞくかみのこひつじ

よはね 1 : 29

きりこみをいれ
☆をさしこみましょう

めにみえなくても
いつもいっしょにいて
くださるかたはだれ
でしょう。
よはねはわたしの
あとにだれがころめ
るのでしょうか



きりこみをいれ
☆をきりこみに
さしこみましょう。
うらをセロテープで
とめましょう。



よのつみをとりのぞくかみのこひつじ

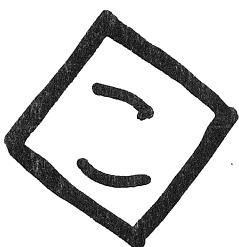
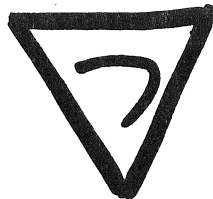
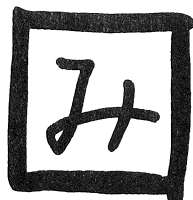
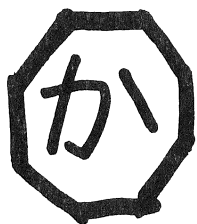
よはね
ヨハネ 1 : 29

ばぶ^ぶて^てろ^ろま^まの^{よはね}ヨハネはイエス^{イエス}さまのことをなんといたでしょう。
 したの^{こま}コマを^き切って^{みな}同じかたちのところにはり、かんせいさせましょう。



ヒント：あんしゅう
せいく

ひとつ おあいから
まちがえないでね！



よのつみをとりのぞくかみのこひつじ

よはね 1 : 29

イエスさまが、せんれいをうけて

いのっているとき、せんれいはどのようなすかたで、
イエスさまにくだりましたか。まるのなかにしたの
とりのなかからただしものをえらんで
かきましょう。(えをき、はって、もよいですよ)
またえのなかにじがかかれています。
さかしてことばをかんせいさせましょう。

--	--	--	--



よのつみをとりのぞくかみのこひつじ

ヨハネ 1 : 29

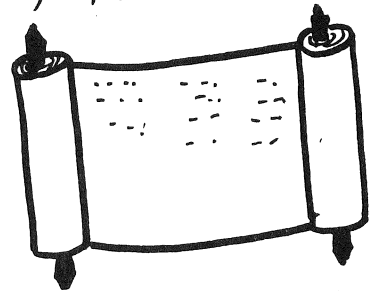
イエスはあくまのこころみにどのようにして、しょうりしましたか、
ただしいものの()に○をしましょう。

- ①「もしあなたがかみのこであるなら、これらのいしかいパンになるように
めいじてごらんなさい。」

() 石をパンにかえた

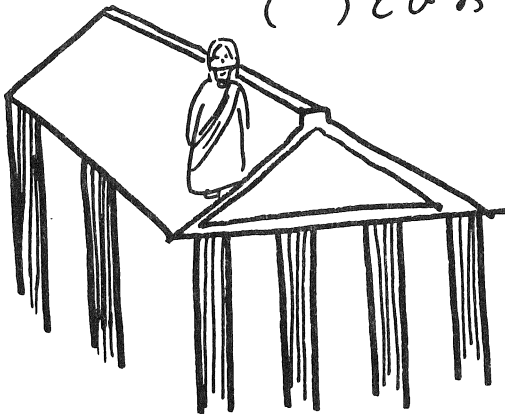


() みことばをかたった

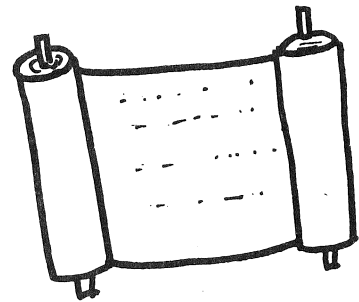


- ②「もしあなたがかみのこであるならしたゝとびおりてごらんなさい。」

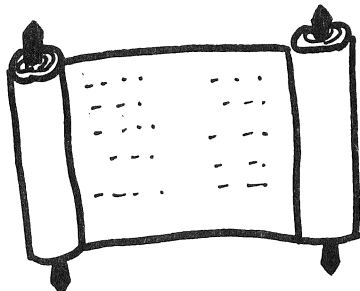
() とびおりた



() みことばをかたった



- ③「もしあなたがひれふしてわたしをおがむなら、これらのものをみな
あなたにあげましょう。」



() みことばをかたった



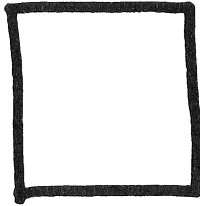
() おがんだ

わたしについてきなさい。

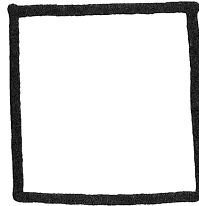
またい
マタイ 4 : 19

- たゞしいものの□に ^{みずがめ} をきりとりはりましょう。

① ぶどうしゃがなくなっていて、こまっているひとはだれですか？



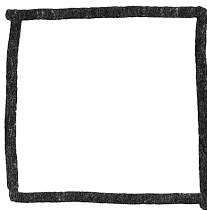
まりあ



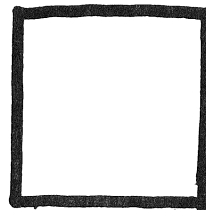
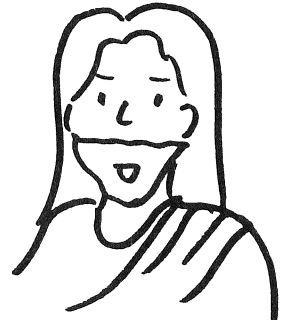
しもべ



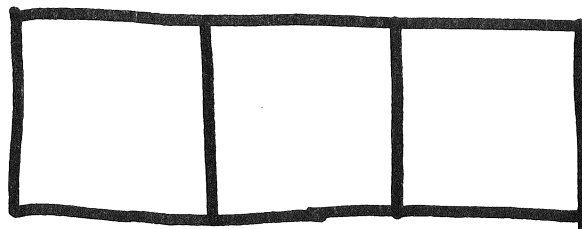
② ぶどうしゃがなくなったことをだれにはなしましたか？



りょうりがしら

いえす
イエスさま

- しもべはだれのめいれいにしたかってみずをくんできましたか？
じのかいてある みずがめをはってこたえましょう。



わたしについてきなさい。

またい
マタイ 4 : 19

A

2 / 17

さんじょう せっきょう
山上の説教

わたしについてきなさい。

マタイ 4・19

A◎

いるひと

あわれみ
ふかい
ひとこの
いは
さ
ひとへいれを
つくります
ひと

のりしる ▲ 都うらへつふいざる

B▲

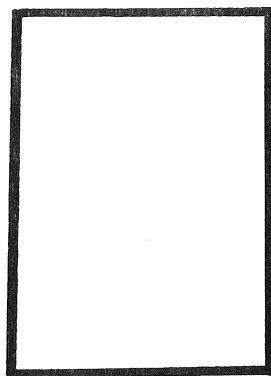
この
ま
ひとかたはしで
いる
ひとは
た
ひとぎに
うさわいて

のりしる 都うらへつふいざる

- ① A・B 2枚を切り取り。
のりづけして車輪にする
- ② Cに色をぬり、切り取る
- ③ Cの窓部分を切り抜く
- ④ Cの----部を山折りし。
①で作った車輪の上に
かぶせ、のりづけする
- ⑤ 輪をまわしながら。
みこころを感じる

C

のりしる



は

さいわいである



— 完成図 —



—— 切り取り線
----- 山折り線

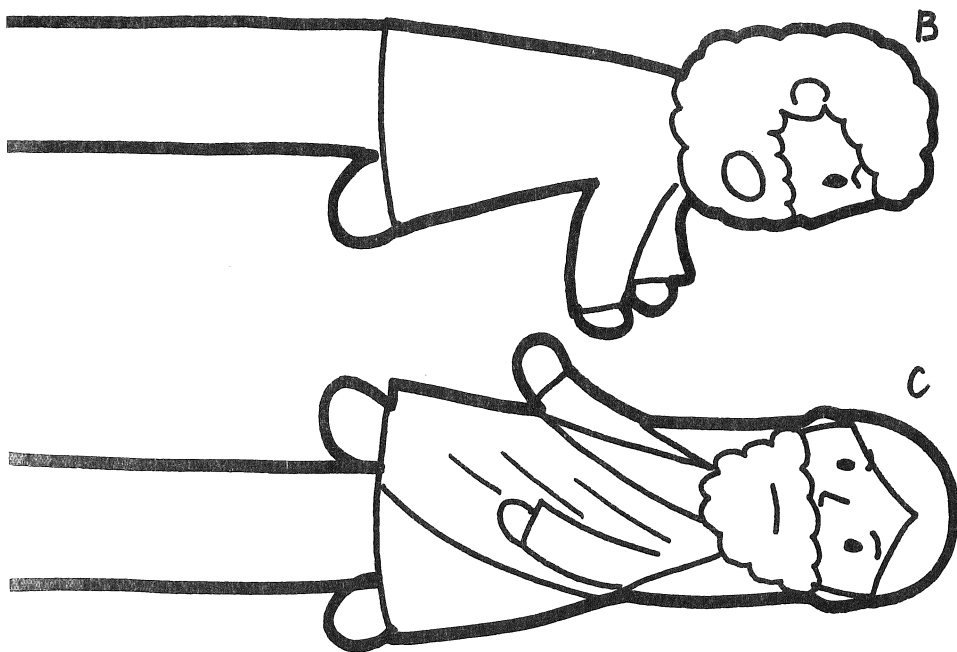
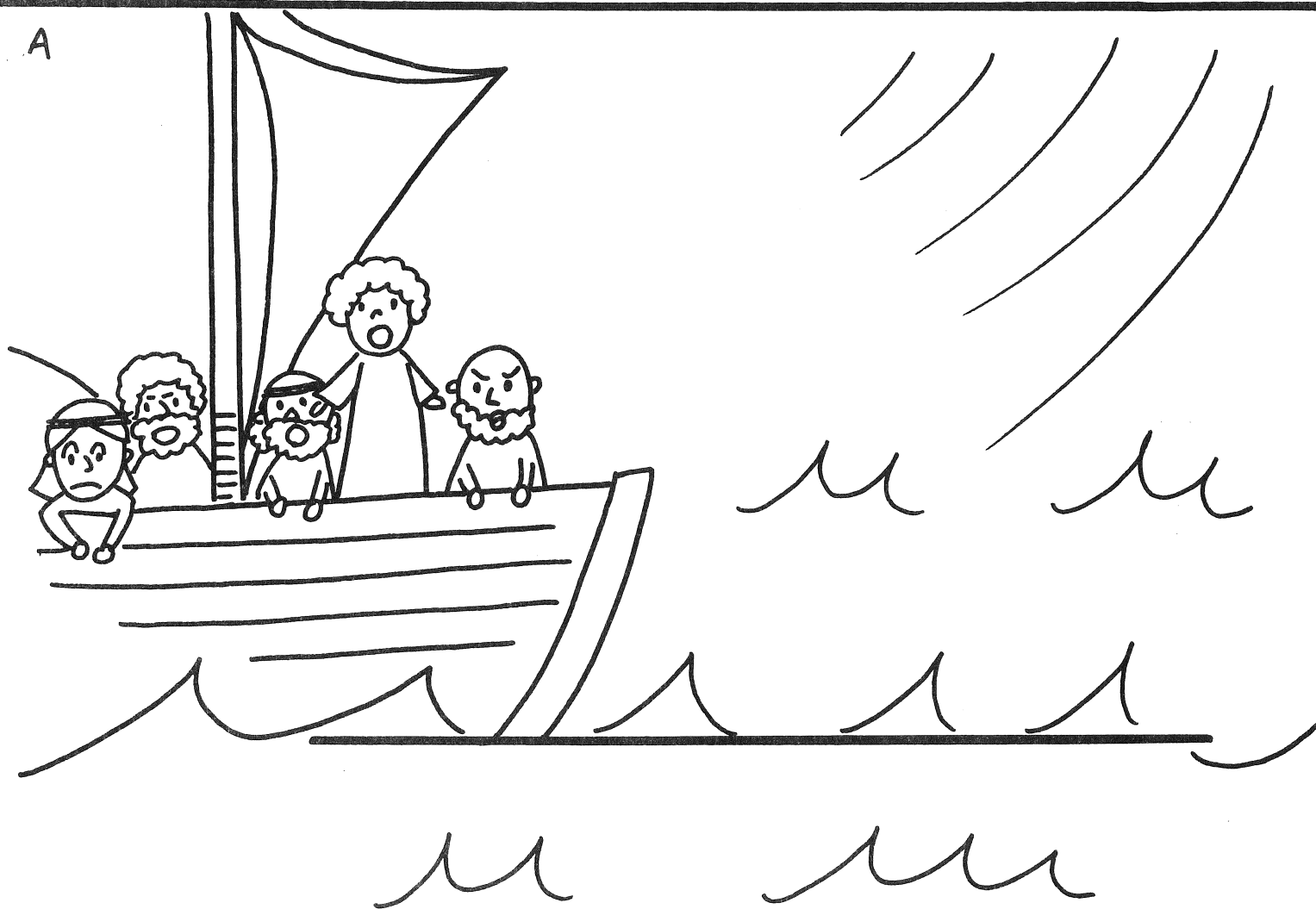
A

2 / 24

こじょう きせき
湖上の奇跡

わたしについてきなさい。

マタイ 4・19



- ① A・B・C に色をぬり、切り取る
- ② Aの 一線部に切り込みを入れる
- ③ B・Cの持ち手部分を切り込みから裏に差し込み、イエス様とハテロを動かす

—— 切り取り線

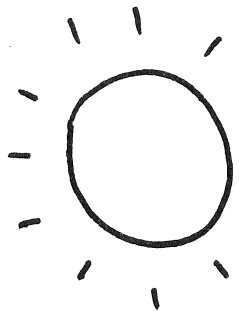
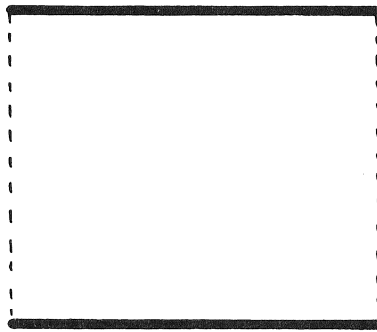
A

3 / 2 ザアカイ

ちちよ、かれらをおゆるしてください。

ルカ 23・34

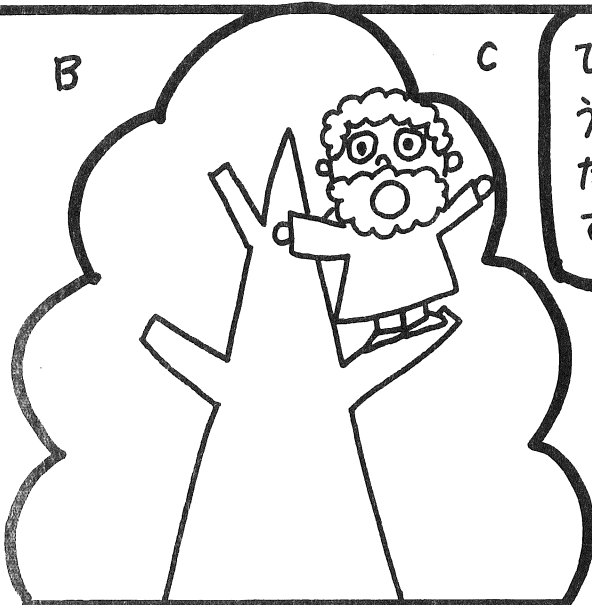
A



B

C

ひとのこがきたのは、
うしなわれたものを
たずねだして
すくうためである。ルカ19・10



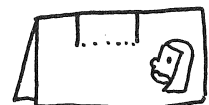
⑤ カードの空白部分に
Cをはる

—完成図—

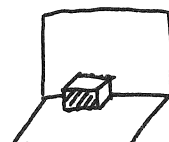


① A・B・Cに色をぬり切り取る

② Aを中表にして 横半分に
折り、図のように切り込みを入れ
……部分に、かきと折り目をつける



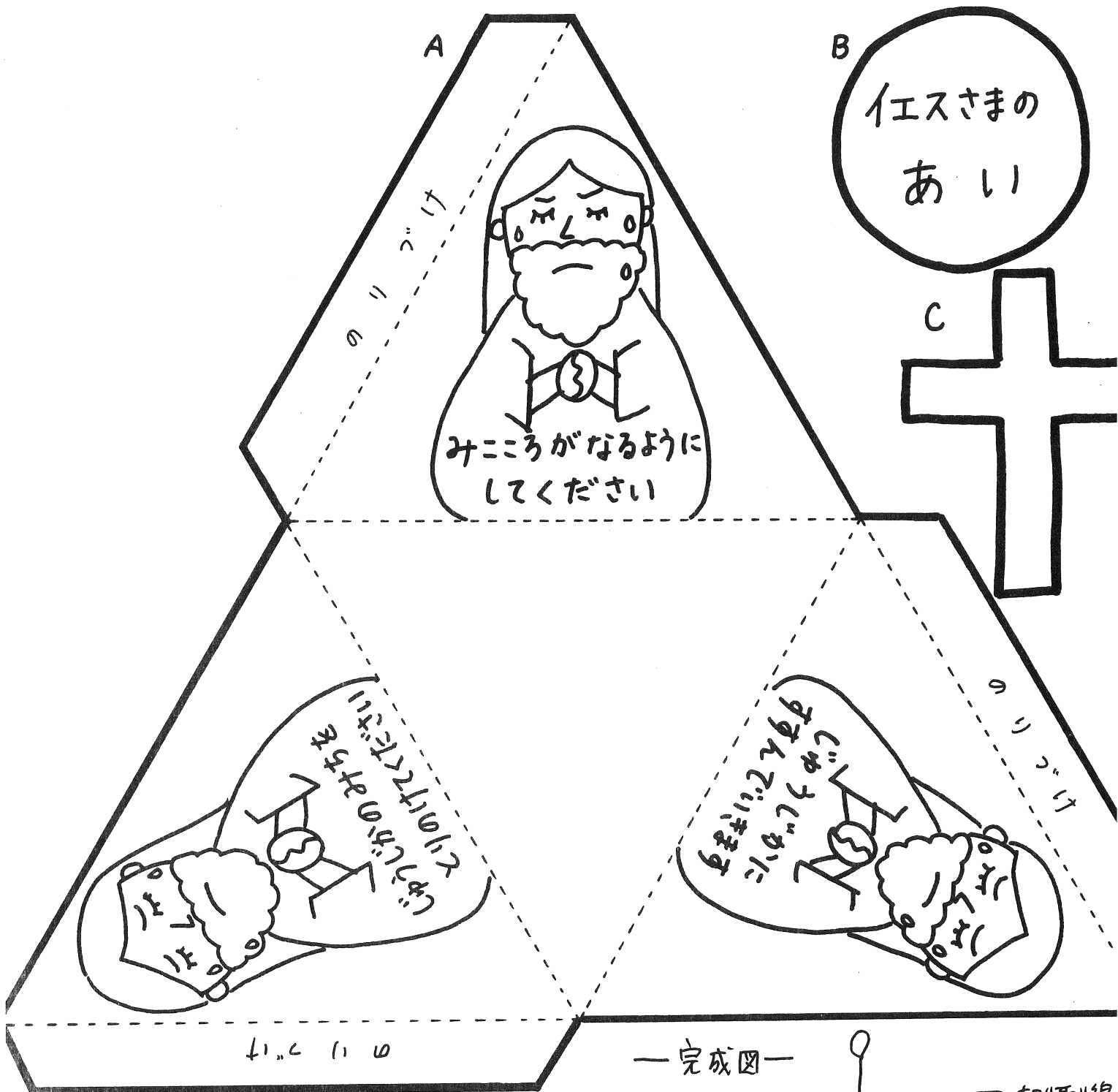
③ Aを開き、図のように切り込み
部分をテーブルのように立たせる



④ 上図 図の部分にBをはる


A 3 / 9 ゲッセマネ

ちちよ、かれらをおゆるしてください。
ルカ 23・34



— 完成図 —

—— 切り取り線
---- 山折り線

- ① A・B・C に色をぬり切り取る
- ② Aの ---- 部を山折リし  をつくる
- ③ 60cmくらいのひもに B・C・A をつける



A

3 / 16

じゅうじか あい
十字架の愛

ちちよ、かれらをおゆるしてください。

ルカ 23・34

A

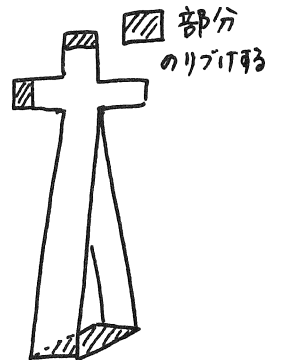
のりしろ

B

ちちよ、かれらをおゆるしてください。

① A・Bに色をぬり
切り取る

② Aを組み立てる

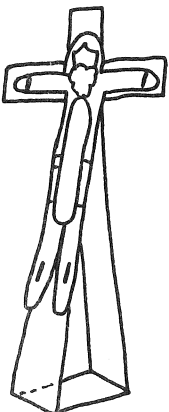


③ イエス様の
両手両足を、
十字架に
ホッチキスでとめる

④ 十字架の足元の
平らな部分に
おもり(小石など)を
置いて立たせる

のりしろ

—完成図—



—— 切り取り線

----- 山折り線

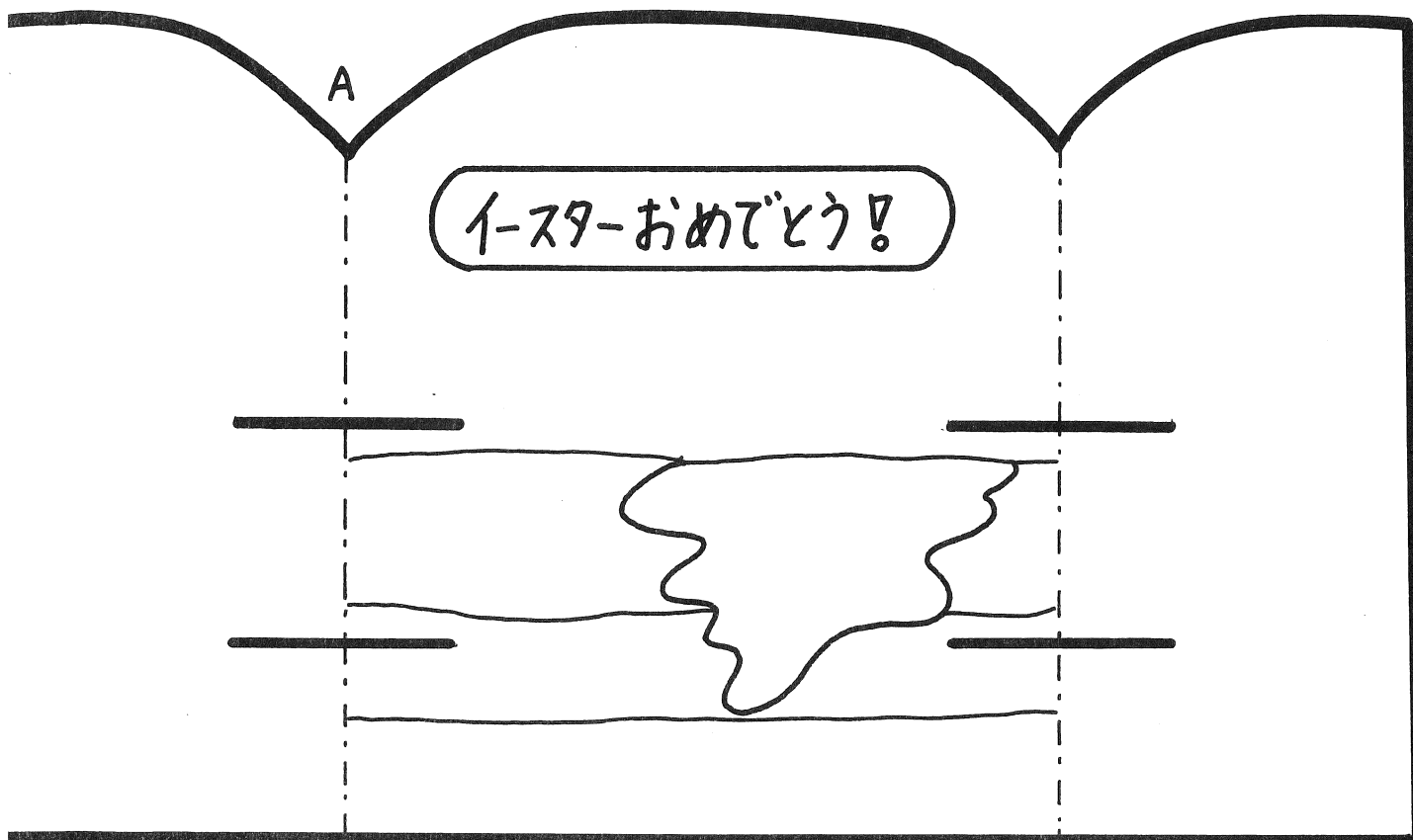
A

3 / 2 3

ふっかつ よろこび
復活の喜び

ちちよ、かれらをおゆるしてください。

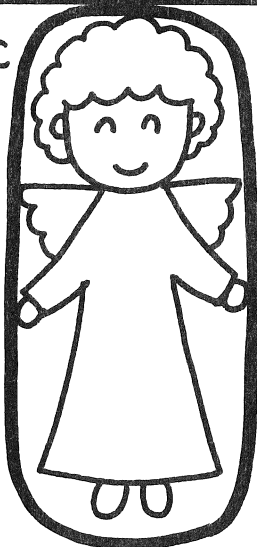
ルカ 23・34



B

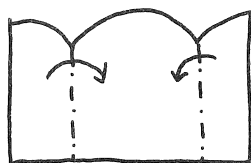
イエスはここには
おられない。
よみがえられたのだ。

C



① A・B・C に色をぬり、切り取る

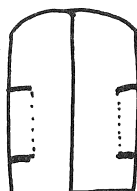
② A の 部分を谷折りする



—— 切り取り線

- - - 谷折り線

③



左右4か所に切り込みを入れ、

..... 部分をしっかりと折り目を付けて開く

— 完成図 —

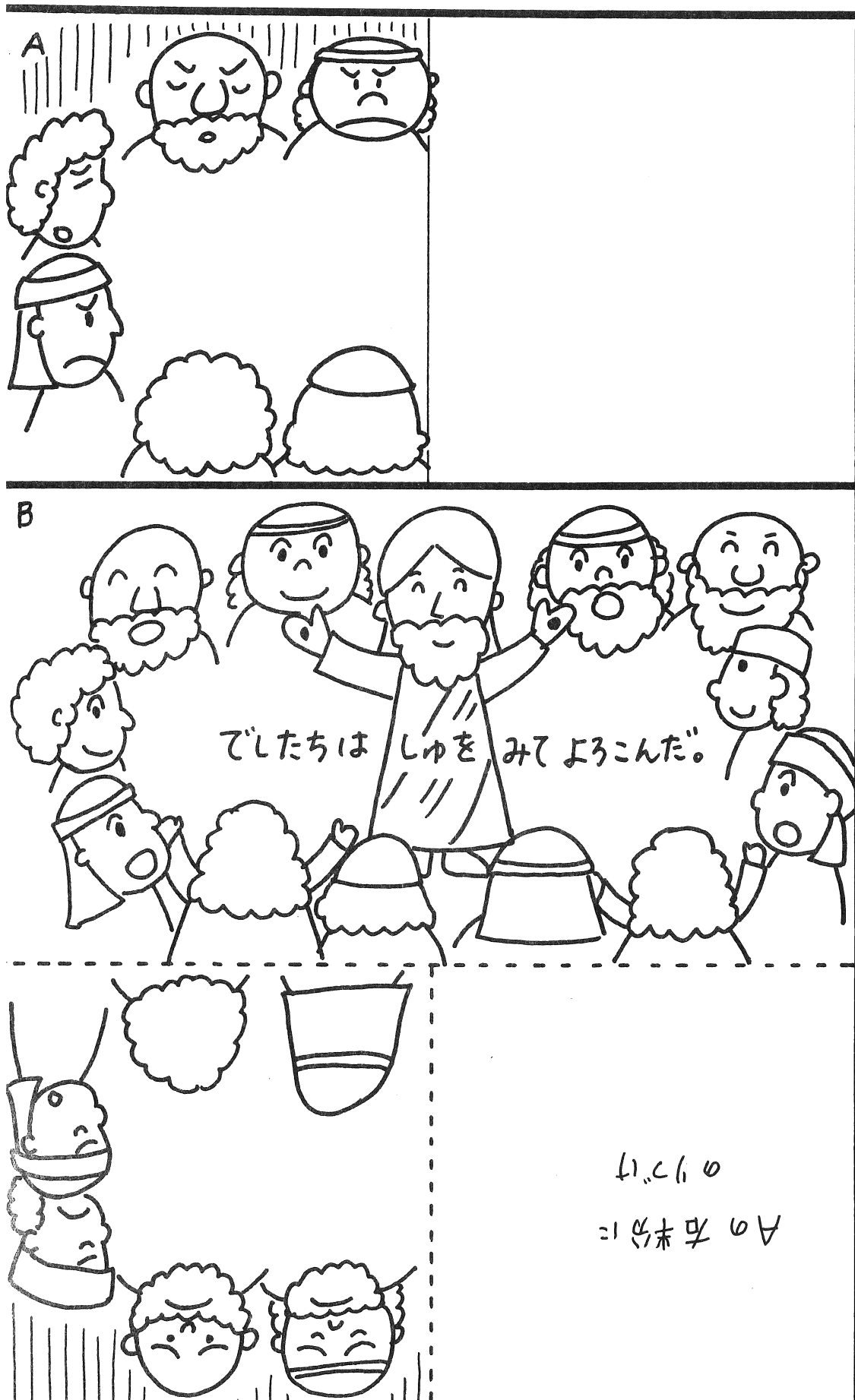
④ Aを開き、図のように切り込み部分をテーブルのように立たせる



⑤ 左図 [] 部に

み言葉と天使をはる





- ① A・Bを切り取り
色をぬる
(Aは暗いかんじに
Bは明るいかんじに)

- ② Bを外表にして
2つに折る



- ③ ②をさらに2つに折る

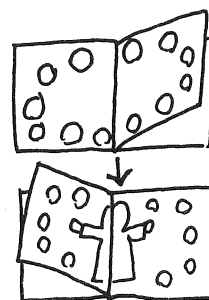


谷折り

- ④
-
- 裏面の
のりづけ

Bの右ページの裏を、Aの
空白部分にのりづけする

- ⑤ Bを開じたり開いたりして、
イエス様が弟子たちの中に
立たれた場面を楽しむ。



—— 切り取り線
---- 山折り線

ワーク A 解説 1~3月

1/6

●話し方のヒント

バプテスマのヨハネは、イエス様のことを一生懸命に伝えていたので、人々はヨハネのまわりにぞくぞくと集まりました。そして、その中からバプテスマを受ける人も出てきました。しかし、ヨハネの働きのうわさを聞いたユダヤ人たちが、ヨハネのもとに祭司やレビ人を送って、ヨハネがどのような人物かを調べました。バプテスマのヨハネは、イエス様の伝道の働きを助けるために生まれてきました。そして、イエス様がこられる前に、人々にイエス様のことを伝えていたのです。私たちもイエス様のことを伝えましょう。

●ワークについて

目に見えなくてもイエス様は共にいることを、貼り付けたイエス様をめくったり閉じたりして覚えましょう。色を塗っても良いでしょう。

1/13

●話し方のヒント

イエス様が、自分の方へ歩いてくるのを見たヨハネは、「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」と、イエス様のことを「紹介したのはこの方のことです」と人々に言いました。「世の罪を取り除く神の小羊」とは、私たちの罪のために十字架にかかり、罪を取り除く働きをするお方ということです。イエス様はこの言葉のと通りの生き方をしました。私たちはイエス様を知っています。それは教えてくれる人がいたからです。では、みなさんはイエス様のことをお友だちに教えてあげたことはありますか。イエス様こそ私たちの救い主です。神の小羊であるイエス様を信じて、たくさんのお友だちにイエス様のことを教えてあげましょう。

●ワークについて

私たちにとってイエス様はどういうお方か、暗唱聖句を確実に覚えましょう。

1/20

●話し方のヒント

イエス様は神の子ですから、本当はバプテスマを受けなくて良かったのですが、バプテスマのヨハネにバプテスマを授けてくださいとお願いしました。はじめは断ったヨハネですが、イエス様に言われるとおりにバプテスマを授けました。その後、イエス様が祈っていると、天から鳩のような姿で聖霊が降りてきて「あなたはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である」との声が天から聞こえてきました。周りにいた人々は大変驚いたことでしょう。それと同時に、イエス様を神の子だと信じたのではないのでしょうか。私たちもイエス様を信じて、神の子とならせていただきます。

●ワークについて

イエス様は私たちにも模範を示すために洗礼を受けました。私たちも将来、洗礼を受けるということの大切さを確認しましょう。

1/27

●話し方のヒント

イエス様は聖霊に導かれて荒野へ行きました。これはイエス様が行きたいと思って行ったのではなく、神様が行くようにされたのです。そこでは、目には見えないけれども、私たちに悪いことをさせようとする悪魔が、イエス様を3度試みました。1度目の試みは石をパンに変えることです。イエス様は、それができたでしょうが、神様のみ言葉のほうがかもっと大切であると言いました。2度目と3度目も聖書のみ言葉で悪魔に勝利しました。私たちは毎週教会学校に通い、み言葉を覚えて悪魔の誘惑に負けたくないになりたいですね。

●ワークについて

私たちが神様を大切にすることは、み言葉に従うことです。イエス様の勝利の姿から学びましょう。

2/3

●話し方のヒント

結婚式でたくさんの人が集まっていました。ユダヤの結婚のお祝いは一週間続きます。準備していたぶどう酒がなくなっていました。お客さんに喜んでもらうためにぶどう酒は必要です。イエス様のお母さんのマリヤは、イエス様なら何とかしてくれると信じてイエス様に相談しました。そして僕に「この方の言うことは何でもしてください」と伝えました。「かめに水をいっぱい入れなさい」との命令に従うと、水は料理がしらも驚くような上等のワインになっていました。どんな事でもイエス様に相談しましょう。また、イエス様が言われることを行いましょう。イエス様は素晴らしいことをしてくださいます。

●ワークについて

イエス様に相談し（祈り）、イエス様に従うことの大切さを確認しましょう。

2/10

●話し方のヒント

ガリラヤ湖で漁をしている人たちがいました。そこをイエス様が通られた時、イエス様はペテロとアンデレという兄弟に目をとめました。そして「わたしについてきなさい」と声をかけられました。また、歩いているとヤコブとヨハネという兄弟と父ゼベダイが舟で網を繕っていました。この兄弟にもイエス様は声をかけられました。ペテロとアンデレ、ヤコブとヨハネに共通していることはなんでしょう。それは4人ともイエス様の招きに何の言い訳もせず、すぐに従ったことです。そして、イエス様と一緒に神様のことを伝える人になりました。

●ワークについて

イエス様の招きに従った弟子たちを覚えましょう。余白に弟子の名前を書いても良いでしょう。

2/17

●お話のヒント

イエス様は山の上で、弟子たちに「心の貧しい人は幸せです」と教えられました。「貧しい」というのは、何も持っていないことなので、なぜ、幸せなのだろうか？と不思議ですね。けれども、イエス様が言われた「心が貧しい」ということは、「優しい心がない」「正しい心がない」「強い心がない」「私には罪の心しかない」と気付いていることです。そのような人は、イエス様に罪を心からおわびして、イエス様に罪を赦していただくことができ、天国に行くことができるので、幸せなのです。

●ワークについて

イエス様は、どのような人が幸いだと言われましたか？輪を回しながら覚えましょう。

2/24

●お話のヒント

大風で舟が進まず、困ってしまった弟子たちの所に、イエス様は、湖の水の上を歩いて来てくださいました。そして「しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない」と言われました。イエス様が一緒にいてくださるなら、何も恐れることはないとわかったペテロは、水の上を歩いてみることにしました。けれども、強い風が吹いてきて「こわい」と思ったとき、ペテロはおぼれそうになってしまいました。イエス様はペテロを助けて、何が起こっても恐れずに信じなさいと教えてくださいました。

●ワークについて

水の上のペテロは、どんな様子だったでしょうか？人形を動かしてみましょう。

3/2

●お話のヒント

ザアカイは、人々から集めたお金をだまし取る、良くない人でした。ある日、町の中を通られたイエス様は、木の上でイエス様を見ようとしていたザアカイに声をかけられました。「ザアカイよ、今日あなたの家に泊まることにしていますよ」。ザアカイは、友だちのいない自分の所に、イエス様が来てくださることを喜んで、イエス様を家にお迎えし、イエス様と友だちになりました。すると、ザアカイの欲張りな心が人々に与える心に、罪の心が神様の前に正しく歩む心に変えられたのです。「あなたと友だちになりたい」と、私たちにも語ってくださるイエス様を、私たちが心の中にお迎えしましょう。

●ワークについて

飛び出すカードを作りましょう。

3/9

●お話のヒント

イエス様は、十字架にかけられる前の夜、ゲッセマネという園の中でお祈りされました。「神様、神様が許してくださるなら、わたしを十字架にかけないでください」と、心の中の思いをそのままお祈りされました。けれども、祈り続ける中で、イエス様のお祈りの言葉が変わりました。「わたしの思いではなく、神様のなさろうとされていることをしてください」。イエス様は、死にそうなくらい苦しみ、悲しんで祈る中で、神様からの慰めと勇気が与えられ、神様の思いに従って、十字架にかかって死ぬことを決心されました。私たちも、苦しくても真剣に神様にお祈りするとき、神様は私たちを慰め、励まし、苦しみを乗り越える力をくださいます。

●ワークについて

イエス様の、ゲッセマネでのお祈りを思い出しましょう。

3/16

●お話のヒント

ゲッセマネの園でお祈りされたすぐあと、イエス様は捕らえられ、次の日には十字架にかけられました。十字架にかけられたイエス様の姿を見て、人々は「お前が神なら、自分自身を救って、十字架から降りてこい」とイエス様をばかにし、笑い、悪口を言い続けました。イエス様はその人々の姿を見て、「仕返しをしてやる」と怒られたりせず、反対に「父よ、彼らをお赦しください」と、人々の罪が赦されるようにお祈りされたのです。このイエス様を信じるなら、私たちのすべての罪が赦され、救われます。

●ワークについて

十字架にかけられた、イエス様の気持ちを考えてみましょう。

3/23

●お話のヒント

イエス様が十字架の上で死なれてから三日目の朝、弟子たちがお墓に行ってみると、お墓の石が転がされ、そこにいた御使いが言いました。「イエス様はここにはおられません。よみがえられました」。本当に、お墓の中にはイエス様のお身体はどこにもありませんでした。その後、イエス様はよみがえられたお姿を、弟子たちの前に現してくださったのです。弟子たちは、イエス様こそ世界でただ一人の救い主だと信じて、イエス様のことを大勢の人々に伝えました。2000年前によみがえられたイエス様は、今も生きておられ、イエス様を信じる人々の罪を赦し、永遠の命を与えてくださいます。私たちも、よみがえられたイエス様こそ救い主と信じて、多くの人々に伝えましょう。

●ワークについて

イースターカードを作り、イエス様のことをまだ知らない人にプレゼントしましょう。

3/30

●お話のヒント

イエス様が十字架にかけられて死なれた後、弟子たちは「自分たちもイエス様のように捕らえられ、殺されたらどうしよう」と恐れ、家の戸を全部閉めて隠れていました。するとそこに、両手に十字架の傷跡のあるイエス様が入って来られました。「イエス様は本当によみがえられた！生きておられる！」。弟子たちは大喜びしました。イエス様がよみがえられたのなら、いつも一緒です。どんな時も助けてくださいます。弟子たちは恐れることなく、力強くイエス様を伝える人になりました。よみがえられたイエス様は今も生きておられ、イエス様を信じる人の恐れを取り除き、力を与えてくださいます。

●ワークについて

弟子たちが、よみがえられたイエス様を見て、大喜びしたことを確認しましょう。